

プランクトン調査結果のお知らせ

ガラク漁場の潮色が悪いとの連絡を受け、平成25年6月15日11時から野見・須崎湾の調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なカレニア・ミキモイが湾全域で確認され、多くの漁場で被害が想定される細胞密度に達していました。餌止めを行う等、慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

有害プラントン (cell/ml)

	水深	カレニア・ミキモイ	コクロディニウム・ポリクリコイデス	ケラチウム・フルカ
馬の背	0m	1	0	0
	2m	97	0	0
	5m	15	0	5
大室戸	0m	2,070	0	1
	2m	370	0	2
	5m	5	0	0
勢井	0m	790	0	5
	2m	1,150	0	4
	5m	99	0	1
ガラク漁場 (北)	0m	1,010	0	1
	2m	620	0	0
	5m	143	0	1
ガラク漁場 (南)	0m	1,910	0	0
	2m	1,480	0	5
	5m	470	0	2
津波防波堤 (外側)	0m	2,310	0	0
	2m	940	0	0
	5m	1	8	0
津波防波堤 (内側)	0m	5,600	0	0
	2m	840	2	0
	5m	99	2	3

漁業被害が想定される細胞密度

- カレニア・ミキモイ: 数百～数千cells/ml(へい死)
- コクロディニウム・ポリクリコイデス: 数百～1,000cells/ml
- ケラチウム・フルカ: 100cells/ml(餌食いの悪化)